

第2部 鉢花類の部 【 審査日：令和6年11月2日 】

(1) 審査所見

鉢花類の部におきましては、シクラメンの5号鉢以上が23点、5号鉢未満が34点、その他鉢花類が63点で、合計120点が出品されました。

さて、本年の気象経過を振り返りますと、1月から2月の気温は平年より高く経過した一方で、3月は平年よりやや低く推移しました。4月以降は再び高温傾向となり、6月には平年よりも2週間遅れて梅雨入りしました。7月中旬に梅雨明けした後も高温傾向で推移し、とくに9月の月平均気温は県内のほとんどの地点で統計開始以来最も高くなりました。昨年に引き続いてのこの記録的な高温は、シクラメンの栽培において生育抑制や開花の遅延など大きな影響があったと思われます。今年も厳しい気象条件の中、栽培管理で苦労された方が多いかと思われます。

また、ここ数年野菜花き試験場で開催されていた本コンクールですが、今年度はこちら「みはらしファーム」での開催となりました。一般のお客様の目に触れる会場にこの後も展示されるということで、より一層注目されるとともに、県内における鉢花生産者の皆様の技術力の高さを広く知っていただける機会となることが期待されます。

さて、気象、社会情勢ともに鉢花生産を取り巻く環境は厳しくなっておりますが、本日出品されました品物はいずれも素晴らしい仕上がりで甲乙つけ難く、審査に時間がかかりました。シクラメンは、開花数、葉枚数(ようまいすう)が多く、バランスの良い締まった草姿(そうし)のものが出品されており、病害虫もほとんど見られませんでした。中でも農林水産大臣賞を受賞したシクラメン「フェアリーピコ 5号鉢」は、圧倒的な花数と鮮明な発色で全体的なバランスも良く、高い技術力が示されていました。農産局長賞を受賞したシクラメン「スーパークレヨン 3.5号鉢」も、ミックスでありながら揃いが良く、配色のバランスにおいても高い評価を受けました。

シクラメン全体としては、昨年と同様に高温で経過した厳しい年であったため、例年に比べて出品数が少なかったことは残念な点ではありますが、出品されたものは高品質で揃いが良く、シクラメンの主産県としてその力を十分に発揮されていると思われました。

その他の鉢花類におきましても、新規性、独自性があり、季節感を出すなどの販売戦略の工夫がなされたものが多く見られました。特に、ビオラやアイリッシュモスなど、需要動向をとらえた品目で品質の高いものが見られ、とても印象的でした。

また、この鉢花部門におきましては高い技術を継承した若い生産者が多く、今後ますますの発展が期待されます。引き続き、多様な需要に対応した高品質な商品の生産をお願いいたします。

(2) 入賞者名簿

区 分	品 名	氏 名	市 町 村
農林水産大臣賞	シクラメン フェアリーピコ	宮坂園芸 宮坂 太木	原村
農産局長賞	シクラメン スーパークレヨン	安曇野ゆうわ園 高田 泉	松川村
長野県知事賞	ビオラ ミルフル	H&Lプランテーション 鶴飼 和仁	富士見町
	シクラメン フェアリーピコ クリアブルー	有限会社田澤農園 田澤 充朗	木曾町
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	ミニシクラメン 抹茶ラテ(八重)	広原園 小林 慧	原村
	アイリッシュモス Mix ピック付き	南原園芸 長沼 春樹	飯田市
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	シクラメン アバニコ マゼンダ	宮澤園芸 宮澤 健一	飯島町
	ガーデンシクラメン Mix ベラノ	有限会社市村園芸 市村 寛	飯田市
	クローバー セレクション	麓farm 斎藤 暢一	原村
長野県農業協同組合中央会長賞	シクラメン イッセイシューベルト	峰花園 荻原 一彦	立科町
	シクラメン ジックス	丸山農園 丸山 貴弘	東御市
長野県鉢花園芸組合長賞	ビオラ リトルバニー パープルブラウン	唐木園芸 唐木 隆裕	伊那市
	シクラメン ハイライトラベンダー	宮沢農園 宮沢 裕一	長野市
	シクラメン ビクトリア	有限会社信州ナーセリー 上田 真義	駒ヶ根市
	ダリア Mix	サンタファーム 春日 彰	伊那市